

馬主だより

第91号

平成30年3月2日

発行 (一社)ばんえい競馬

馬主協会事務局

☆地方競馬売上げ01年度以来16年ぶりに5千億円の大台見通し！！

▼地方競馬はここ数年業績回復が著しい。今年も勢いは続いており2017年度の売上げは6年連続で業績回復となるのは確実で01年度以来16年ぶりに5千億円の大台を突破する見通しです。▼業績回復を象徴する高知競馬では、09年以降ナイターを実施。全国唯一の通年ナイターの実現により08年度の売上げが約38億8千万円に対し16年度は253億3千万円と8年間で6.5倍に急伸した。今年度から発売を開始したSPAT4の効果もあり優に300億円を超える勢いです。▼ばんえい競馬に於いても12年度以降5年連続で前年の発売額を上回り、今年度に於いては、これまで前年対比38%増と過去に経験した事のない伸びとなっています。▼ばんえい十勝はようやく十周年が過ぎ、ともすれば存続の危機は遠のいたかのように錯覚されるところですが、課題は尽きない。馬の生産、競走馬確保、賞金や諸手当等報償金の復元、老朽化施設の改善や衛生環境の整備、又きゆう務員をはじめ人手不足の深刻化等々、いずれも簡単には解決のできない難題に立ち向かって行かなければなりません。▼主催者は何を優先事項とし、限られた財源をどこに投資すべきか、変化に対応する柔軟性と判断力、そして常にバランス感覚を兼ね備えた“真の安定的経営”をいかに推し進めて行くのかが問われている。

平成29年度 ばんえい競馬 発売成績(累計)

開催139日間

帯広市ばんえい振興室資料提供

平成30年2月26日終了時

区分	発 売 金 額							
	平成29年度			平成28年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
帯広競馬場	139	1,198,917,900	1,210,620,900	139	1,222,568,000	99.03	98.07	
直営場外	旭川北彩都	139	568,650,800	574,787,000	139	667,117,600	98.93	85.24
	ミトスポット北見	139	419,990,400	423,247,400	139	320,868,800	99.23	130.89
	ハロンス岩見沢	139	221,616,100	222,448,700	139	206,145,700	99.63	107.50
	ハロンス釧路	139	90,658,800	91,672,500	139	87,937,600	98.89	103.09
	ハロンス名寄	139	97,566,700	100,870,200	139	126,767,600	96.72	76.97
	アプスポット網走	139	64,187,100	67,028,000	139	51,782,900	95.76	123.95
	琴似駅前	139	125,266,400	126,136,400	139	130,536,900	99.31	95.96
	イルムふかがわ	139	82,974,500	84,185,200	139	82,596,400	98.56	100.46
電話投票	オッズパーク	139	5,051,689,100	5,108,183,400	139	4,777,004,200	99.89	105.75
	OP(七重勝)	139	32,934,600	105,960,800	139	73,287,800	102.02	44.94
	OP(五重勝)	139	75,169,400		139	52,197,700		144.01
	競馬モール	139	5,204,521,600	5,292,914,900	139	4,233,784,400	98.33	122.93
	SPAT4	139	5,612,501,900	5,914,442,800	47	1,322,863,200	94.89	424.27
広域場間場外	—	1,432,660,300	1,471,100,200	—	1,325,773,000	97.39	108.06	
場外・電投計	—	19,080,387,700	19,582,977,500	—	13,458,663,800	97.43	141.77	
合計		20,279,305,600	20,793,598,400		14,681,231,800	97.53	138.13	
1日平均	139	145,894,285	149,594,233	139	105,620,373	97.53	138.13	

平成29年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第24回6日目まで139日間)

平成28年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第24回5日目まで139日間)

会議等の様子

○ 平成 29 年度第 9 回執行役員会を開催！！

～ 平成 30 年度事業計画策定にあたり予算編成の骨子を検討 ～

平成 30 年 2 月 18 日(日)当協会事務局会議室に於いて、平成 29 年度第 9 回執行役員会を開催しました。

役員会では、来年度、平成 30 年度の当協会事業計画策定にあたり、予算編成の骨子について検討しました。新年度に向けては、社会環境の変化に伴い今後対応が望まれる新たな課題について、これまでも協議を重ねて参りましたが、共済事業の弔慰金の制度改正や精液検査事業主体等の一部変更、更には諸規程改正を伴う見直し等について審議、基本方針を固めました。

また、これら変更点や改正に伴う必要財源の確保や平成 29 年度の決算見込みの状況も踏まえ、平成 30 年度の予算編成の基本的考え方と骨子について事務局から説明。執行役員会に於いて次年度予算に反映可能なものについては、適切に対応すべく見直しを図って行くことで一致。次回、理事会に議題として提案することになった。

【第 9 回執行役員会議事】

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 平成 29 年度競走馬診療業務サポート事業決算見込み
- (3) 平成 29 年度馬弔慰金対象事故による新年度弔慰金額の試算
- (4) 内国産農用種雄馬購買に係る精液検査に関する陳情
- (5) 平成 30 年度予算編成の骨子
- (6) その他
 - ① 会議等日程調整
 - ② 平成 30 年度報償費支給基準

【馬弔慰金支給対象馬】 1頭 1,200,000円

内 訳 (単位:円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
ウンリユーゴールド	5	高柳 稔	業務中	1,200,000

○ 平成 29 年度各ブロック懇談会始まる！！

～ “会員からの意見、要望等を聴取し会の運営等へ反映” ～

平成 29 年度のブロック懇談会は、平成 30 年 2 月 22 日(木)道北ブロック(旭川市)を皮切りに、北網、道東、道央、道南のそれぞれ 5 ブロックに於いて順次開催する予定となっています。

ブロック懇談会は、直接会員にお会いする数少ない機会でもあり、より多くの貴重なご意見、ご要望を聴取し、会員のニーズを把握するとともに当協会の運営等へ反映させるため、毎年、2 月、3 月でブロック毎に開催しています。

年々会員数が減って行く中に於いて、年一度の通常総会やブロック懇談会は、会員が一堂に会して、意見を述べる機会であり、普段、それ以外ではあまり会うことのない会員相互の親睦を図ることも目標の一つであることから、今後とも集まり易い時期と雰囲気を作って行きたいと考えております。

どうか皆様には、ばんえい競馬に関する近況等をお聞かせいただきながら、昔話に花が咲く“楽しいひととき”となれば幸いに存じます。

是非、お誘い合わせの上、お一人でも多くのご出席をお待ちしております。

【平成 29 年度ブロック懇談会日程】

- 終了 道北ブロック 平成 30 年 2 月 22 日（木）アートホテル旭川（旭川市）
- 終了 北網ブロック 平成 30 年 2 月 23 日（金）北見ピアソンホテル（北見市）
- 終了 道東ブロック 平成 30 年 3 月 02 日（金）ホテル日航ノースランド帯広（帯広市）
- 道央ブロック 平成 30 年 3 月 07 日（水）ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市）
- 道南ブロック 平成 30 年 3 月 11 日（日）天然温泉七重浜の湯（北斗市）

情報・ご案内

○ ロッテルダム国際映画祭 ばんえい短編映画 グランプリ獲得！！

～「Mountain Plain Mountain」～

第 47 回ロッテルダム国際映画祭(1 月 24 日～2 月 4 日・/オランダ)の短編部門で、帯広競馬場を題材に制作された映像作品「Mountain Plain Mountain」がグランプリを獲得しました。制作者は、山形県出身の映像作家荒木悠さん(32 歳)とペルー出身の同ダニエル・ジャコビーさん(32 歳)。

ロッテルダム映画祭は多くの来場者数を誇る国際映画祭の一つで、毎回 50 を超える国から 500 作品以上が出品されている。短編部門には今回、22 作品が揃い、うち 3 編がグランプリに選ばれた。荒木さんとジャコビーさんは、それぞれ世界各地で展示会や映画祭に作品を出している。

この作品は、昨年 6 月にスペイン・バルセロナのミロ美術館で開かれた展示会「The Way Things Do」のために作られた 20 分ほどの短編。ばんえい競馬を題材に、同年 4 月に帯広競馬場で撮影された。

○ “鈴木邦哉調教師 通算 1,500 勝達成 ばんえい史上 5 人目！！”

鈴木邦哉調教師(63 歳)は、2018 年 2 月 11 日(日)第 9 競走で自身が管理するフクク号が優勝し、通算 1,500 勝を達成しました。

調教師の 1,500 勝達成は、2016 年 7 月に達成した久田守調教師以来ばんえい史上 5 人目となります。おめでとうございます！！

鈴木 邦哉(すずき くにや) 調教師プロフィール	
※2018 年 2 月 11 日(日)第 9R 終了時点	
生年月日	1954 年 7 月 26 日(63 歳)
出身地	岩手県遠野市
調教師デビュー	1987 年 4 月 19 日(管理馬:ホシタカラ号)
通算成績	15,165 戦 1,500 勝(うち重賞 21 勝)

主な重賞優勝	1996年	ばんえいオークス	管理馬:ダイフジオーカン
	1997年	イレネー記念	管理馬:クシロキンショウ
	2003年	帯広記念	管理馬:クシロキンショウ
	2004年	帯広記念	管理馬:ミサキスーパー
	2011年	ばんえいダービー	管理馬:オイドン
	2013年	天馬賞	管理馬:オイドン

○ 新馬登録申請頭数200頭を超え 昨年並みとなる見通し！！

～ 3月7日、8日、14日、15日帯広競馬場で登録検査実施 ～

昨年11月から随時受付を行っている来年度デビューの新馬登録申請頭数が200頭を超へ、昨年並みの申請頭数となる見通しです。

今回、2月末までに申請された馬については、帯広競馬場の装鞍所に於いて3月7日(水)、8日(木)と3月14日(水)、15日(木)の4日間で馬登録検査を行ないます。なお、当該検査日は、混雑を避けるため、調教師毎に検査日及び検査時間が指定されております。検査当日入きゆうされる場合には、預託予定の調教師にあらかじめご確認のうえ、時間厳守でお願いいたします。

また、下記のとおり、馬登録検査時の注意事項について、再度、ご確認ください。

■【登録検査時の注意事項】

- ① 検査当日は、混雑も予想されますので、順番等については検査員の指示に従ってください。
 - ② 検査時に特徴の違う馬が発見された場合に備え、その馬の入手経路がわかるようにしておいてください。
 - ③ 検査時は、必ず馬に轡（くつわ）を装着してください。
 - ④ 検査時は、特徴が判別できるよう馬体の汚れを落としてください。
 - ⑤ 検査当日、現地（競馬場）での申請受付は一切いたしません。
 - ⑥ 検査当日、競馬場に入きゆうし登録検査を受検する場合には、必ず馬伝染性貧血検査及び三種混合ワクチン（所定の間隔で2回実施）の証明書を携行してください。当該証明書の無い馬は入きゆう出来ませんので、ご注意願います。
- 以上、あらかじめ調教師とよく相談して登録検査を受けてください。

○ 平成30年度『ばんえい十勝』開催日程案示される！！

～ 4月20日(金)に開幕 26開催151日間を計画 ～

帯広市は、平成30年度のばんえい十勝開催日程案が次のとおり示されました。

帯広市単独開催となり12年目を迎える平成30年度の開催は、「帯広市ばんえい競馬運営ビジョン」(平成29年2月一部改定)を着実に実行して参ります。

また、ばんえい競馬の発売額の約8割を電話・インターネットで占めることから、更なる増収に向けて、首都圏、東海、関西地区におけるスポーツ紙への馬柱掲載や電話投票委託会社との連携強化等、情報提供の充実によって一層ファンサービスの向上に努めます。開催日程については、毎週土、日、月曜日開催を基本に本年度より1日多い26開催151日間を計画。

※ 日程の公式発表は3月9日(金)の予定です。【取扱い注意】

■【平成 30 年度開催日程(案)の概要】

- ・平成 30 年 4 月 20 日(金)～平成 30 年 11 月 19 日(月)
【ナイター開催(最終レース 20:45 発走予定)】 94日間
- ・平成 30 年 11 月 24 日(土)～平成 30 年 12 月 29 日(土)
【ナイター開催(最終レース 19:40 発走予定)】 18日間
- ・平成 31 年 1 月 1 日(火)～平成 31 年 1 月 3 日(木)
【デイ開催(最終レース 17:15 発走予定)】 3日間
- ・平成 31 年 1 月 4 日(金)～平成 31 年 3 月 24 日(日)
【薄暮開催(最終レース 18:45 発走予定)】 36日間

※ 詳しくは、別紙『平成 30 年度ばんえい十勝』開催日程(案)をご覧ください。なお、開催日程は、年度途中に於いて変更する場合がありますので、ご了承ください。

○ **平成 30 年 4 月 9 日(月)帯広競馬場内で臨時市場開設予定！！**

平成 30 年 4 月 9 日(月)帯広競馬場に於いて、当協会が臨時家畜市場を開設致します。

当該市場は、ばんえい競馬における競走能力不適合馬や競走引退馬等の馬の流通改善を図るため開設するものです。また、市場での取引価格は過去の実績からも、相対取引よりも当該市場に於いて馬の売買をした方が手数料、消費税を差し引いても高値で販売できる事が見込まれます。会員各位には、是非、当該事業の趣旨にご賛同ご理解をいただき、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、当該市場当日並びにその前日及び翌日、競馬場内に於いて相対取引を行ったことが判明した場合には、法に基づきしかるべき措置注1●●をとらせていただきますので、ご注意ください。

注 1：家畜取引法第二十七条の二

家畜取引を業とする者は、家畜市場の開場日並びにその前日及び翌日には、当該家畜市場からおおむね千メートル以内の周辺の区域内で都道府県知事の指定する場所において、当該家畜市場において取り扱う種類の家畜についての家畜取引を行なってはならない。

レース情報

○ **重賞競走の結果**

月 日	重 賞 名	馬 名	馬 主	調教師
2 月 11 日	第 43 回 黒ユリ賞	ミスタカシマ	永井 進	槻館 重人
2 月 25 日	第 39 回 チャンピオンカップ	オレノココロ	大森 勝廣	槻館 重人

優勝おめでとうございます！！

◆ **第 43 回黒ユリ賞（3 歳牝馬オープン）**

2 月 11 日(日)は重賞・黒ユリ賞(3 歳牝馬オープン)が行われ、単勝 1 番人気のミスタカシマが優勝。ナナカマド賞勝ちの実力をいかんなく発揮し、重賞 2 勝目を挙げまし

た。

牡馬を相手に互角のレースを見せているミスタカシマが、単勝 1.9 倍の断然人気。白菊賞勝ちなど高いレベルで安定しているプランセスが 2.6 倍と、この 2 頭が人気を二分します。やや離れた 3 番人気のサンシルクラポピーが 8.9 倍で、単勝ひと桁台はここまで。ただ、1 戦ごとに成長を見せる明け 3 歳馬だけに、単勝最低人気のセンリョウバコでも 48.5 倍と、どの馬にもチャンスがありそうな戦前予想となりました。

馬場水分は 2.2% でスタート。全馬未経験となる 640 キロの定量戦でしたが、道中は各馬とも軽快に飛ばします。ジェイフラワー、ミスタカシマ、サトクィーンあたりが先行態勢も、他馬も離れず追走し、横一線の状態で第 2 障害を迎えました。ひと息入れて、最初に仕掛けたのはジェイフラワー。続けてミスタカシマ、サトクィーンと積極的なレースを見せていた 3 頭が、ここでも早めの登坂。なかでも軽快に駆け上がったのがミスタカシマで、スピードに任せて障害を下りていきます。多少遅れてジェイフラワーが続き、サトクィーンもさほど遅れずに突破。以下、サンシルクラポピー、アフロディーテ、プランセス、センリョウバコが、次々と障害をクリアし、追撃態勢に入りました。

残り 30 メートル標識を過ぎると、ミスタカシマが独走態勢を築き、苦しくなったジェイフラワーにアフロディーテとプランセスが迫ります。特に軽快な末脚を見せたのはアフロディーテで、残り 20 メートル付近で 2 番手に浮上します。しかし、先頭のミスタカシマは余力十分。懸命に追うアフロディーテを尻目に、ゆうゆうとゴール線を通り、結果 4 秒 6 差をつけて 2 度目のタイトル奪取を果たしました。2 着はアフロディーテで、さらに 14 秒差の 3 着にはサンシルクラポピーが入りました。

勝ったミスタカシマは、これが重賞 2 勝目。やはり牝馬同士なら一枚上の存在で、その実力を存分に発揮しての勝利となりました。難なく障害を突破したことに加え、しまいまで軽快に脚を伸ばした内容からも、レースセンスは相当。今後、牡馬相手の重賞でも好勝負が期待できそうです。

アフロディーテは 9 番人気を覆しての 2 着。じっくりため、ひと腰で駆け上がった第 2 障害が印象的で、最後の平坦路もきっちり歩ききる好内容。これだけスムーズな競馬ができれば、重賞制覇のチャンスも巡ってくるはず。今後も軽視は禁物でしょう。

◆ 第 39 回チャンピオンカップ（4 歳以上 重賞競走優勝馬）

2 月 25 日(日)は重賞・チャンピオンカップ（4 歳以上選抜、重賞競走優勝馬）が行われ、単勝 1 番人気のオレノココロが優勝。昨年のばんえい記念馬が上昇気配を見せ、年度末の大一番へ向け、照準を合わせてきました。

ナカゼンガキタが出走を取り消し、5 頭での争いとなりましたが、実力、実績ともに今のばんえいを代表する馬が集結。わずかにオレノココロが 1 番人気に推されたものの、オッズは拮抗し、最低人気のニュータカラコマですら 11.7 倍。どの馬にもチャンスがあるという戦前予想になりました。

馬場水分は 1.6% でスタート。高重量も難なくこなす今回のメンバーではありますが、少頭数ということもあり、各馬様子をうかがいながら中間点を通過。大きく遅れる馬もなく、差なく第 2 障害を迎えました。最初に仕掛けたのは、障害巧者のニュータカラコマ。他馬は静観の構えでしたが、ニュータカラコマがひと腰で天板に達したのを合図とするように、オレノココロ、コウシュハウンカイ、センゴクエースが動きます。ニュータカラコマは難なく突破してリードを広げにかかりますが、オレノココロがスムーズに障害を突破して追撃態勢。遅れてセンゴクエースもクリアし、前の 2 頭を追いかけます。同じような差でコウシュハウンカイが 4 番手。キサラクは障害で詰まり、絶望的な差となってしまいました。

リズム良く逃げていたニュータカラコマでしたが、徐々にその差は詰まりはじめ、残り 10 メートル付近で脚いろが鈍ります。そこへ襲いかかったのがオレノココロ。こうなればこの馬の勝ちパターンで、自慢の末脚は最後まで衰えることなく、一直線にゴール線を突破しました。た

だ、それ以上の脚いろで追い込んできたのがセンゴクエース。オレノココロには届かなかったものの、ゴール線上でニュータカラコマを捉えて2着を確保しました。最終的にニュータカラコマはソリの後端が残った状態でストップし、2着から10秒8離れた3着となりました。

勝ったオレノココロはこれが重賞16勝目。ゆったりとしたペースが幸いしたのか、第2障害をすんなり突破できたのが今回の勝因でしょう。岩見沢記念以来、約5カ月ぶりの重賞勝ちとなり、ばんえい記念へ向けて勢いづいたはず。引き続き要注目の存在です。

センゴクエースは1秒7だけ届かず2着に敗れましたが、鋭い末脚は目をみはるものがありました。今年で6歳を迎え、着実に力をつけている印象。今後の重賞でも好勝負が期待できそうです。

※レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。